

# ウオダス 漁海況速報 No. 1976

発行日 平成30年2月1日  
 http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=2184  
 発行 (地独) 青森県産業技術センター水産総合研究所  
 TEL:017-755-2155 FAX:017-755-2156  
 住所 〒039-3381 青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10



2月のウオダス発行予定

日	月	火	水	木	金	土
				①	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

○ 漁海況 □ 漁況

## ○スルメイカは極端な不漁

### ○トピックス:

津軽海峡東口における津軽暖流の流量調査

小泊 (1月26~31日)

マダラ	刺網	4隻	5,016.5kg
-----	----	----	-----------

下前 (1月16~20日)

ウスメバル	釣り	14隻	602.9kg
マダラ	刺網	2隻	973.0kg

鯨ヶ沢 (1月26~31日)  
(とりまとめ中)

大戸瀬 (新深浦) (1月26~31日)

ヤリイカ	定置網	12隻	124.3kg	(22,951.0kg)
	底建網	163隻	22,826.7kg	
マダイ	定置網	4隻	7.1kg	(183.4kg)
	底建網	93隻	176.3kg	
ブリ	定置網	3隻	5.5kg	(14.7kg)
	底建網	9隻	9.2kg	
ウスメバル	定置網	4隻	5.5kg	(1,584.9kg)
	底建網	135隻	1,579.4kg	
マダラ	定置網	11隻	243.2kg	(738.1kg)
	底建網	58隻	494.9kg	
マイワシ	底建網	3隻	160.0kg	
サバ類	定置網	1隻	0.4kg	(375.7kg)
	底建網	19隻	375.3kg	
サクラマス	定置網	12隻	87.9kg	(100.6kg)
	底建網	2隻	12.7kg	

平館 (外ヶ浜) (1月11~15日)

スルメイカ		2,470.3kg
スルメイカ		185.0kg
ヤリイカ		817.1kg
ヤリイカ		917.0kg
マダイ		7.9kg
マダイ		27.9kg
ブリ		5.4kg
ウスメバル		13.0kg
ウスメバル		88.0kg
マダラ		1,699.4kg
マダラ		127.3kg
サバ類		7.0kg
サバ類		1.2kg
サケ		5.3kg

深浦 (1月26~31日)  
(とりまとめ中)

三厩 (1月21~31日)  
(とりまとめ中)

佐井 (1月16~31日)  
(とりまとめ中)

平館 (外ヶ浜) (1月16~20日)

スルメイカ	底建網	1隻	424.5kg
スルメイカ			26.5kg
ヤリイカ			730.8kg
ヤリイカ			704.9kg
マダイ			22.6kg
ブリ			3.2kg
ウスメバル			23.8kg
ウスメバル			39.2kg
マダラ			611.3kg
マダラ			325.5kg
マイワシ			22,260.0kg
マイワシ			128.0kg
サバ類			4.0kg
サバ類			23.6kg
サクラマス			1.5kg

尻労 (1月26~31日)  
(とりまとめ中)

白糠 (1月16~31日)  
(とりまとめ中)

大畑 (1月26~31日)

スルメイカ	底建網	4隻	70.5kg
ヤリイカ	定置網	14隻	993.4kg
	底建網	21隻	1,588.6kg
マダイ	定置網	7隻	9.0kg
	底建網	7隻	8.0kg
ブリ	定置網	1隻	0.4kg
ウスメバル	定置網	1隻	0.2kg
	底建網	16隻	18.2kg
マダラ	定置網	6隻	30.6kg
	底建網	14隻	95.2kg
マイワシ	底建網	5隻	1,822.0kg
サクラマス	釣り	5隻	50.2kg
	定置網	13隻	41.0kg
サケ	定置網	14隻	435.0kg

三沢 (1月26~31日)

ウスメバル	刺網	3隻	2.4kg
マダラ	刺網	4隻	26.1kg

八戸 (1月26~31日)

スルメイカ	釣り	2隻	295.0kg
マダラ	定置網	2隻	142.0kg
	底曳網	2隻	259.0kg
サケ	定置網	4隻	901.0kg

## ○スルメイカの漁獲状況

5月21日から1月末までの一本釣りによるスルメイカの水揚量は日本海275.8トン(前年比43.7%)、津軽海峡507.9トン(前年比71.8%)、太平洋2,843.9トン(前年比91.0%)となっていて、県全体として不振だった前年の81.2%になりました。また、過去4か年平均比でみると、各海域37.8%、25.5%、53.3%となっており、県全体としては45.0%と、半分にも満たない結果となりました。(資料: 県漁連スルメイカ日計表より集計)

○サケ捕獲状況 (1月20日現在)

	沿岸漁獲尾数		対前年比		対前年比	
	尾数	対前年比			尾数	対前年比
青森県	1,075,455	尾	104.6%	青森県農林水産部水産局水産振興課調べ		
岩手県	2,399,195	尾	80.9%	岩手県農林水産部水産振興課調べ		
宮城県	815,419	尾	93.4%	宮城県農林水産部水産業基盤整備課調べ		

## ○青森県サケ捕獲状況(1月中旬現在)

県全体の沿岸漁獲量は累計で3,157トンで前年の約106%、河川上数は121,937尾で前年比約80%です。累計漁獲金額は前年比128%、平均体重は102%となっています。

○青森県サケ捕獲状況 (1月中旬現在)

	沿岸漁獲量		河川上数	
	1月中旬累計	前年同期比	1月中旬累計	前年同期比
	kg	%	尾	%
太平洋	2,457,714	106.9%	104,385	81.5%
津軽海峡	494,388	106.4%	950	40.0%
陸奥湾	5,742	161.6%	8,851	59.5%
日本海	199,507	98.3%	7,751	99.2%
合計	3,157,351	106.3%	121,937	79.6%

資料: 県水産振興課

## 沿岸各地の水温 (1月26日～31日)

日本海 3℃～5℃台 津軽海峡 3℃～8℃台  
陸奥湾 3℃～8℃台 太平洋 3℃～6℃台

今回は平均前回差が-1.2度となりました。

前年と比べると、日本海が-1.3度、津軽海峡が-1.5度、陸奥湾が-1.0度、太平洋が-1.6度で、平均前年差は-1.3度となっています。

すべての地点で平年を下回り、日本海側及び津軽海峡側で「はなはだ低め」、陸奥湾内で「やや低め」、太平洋側では「かなり低め」となっています。

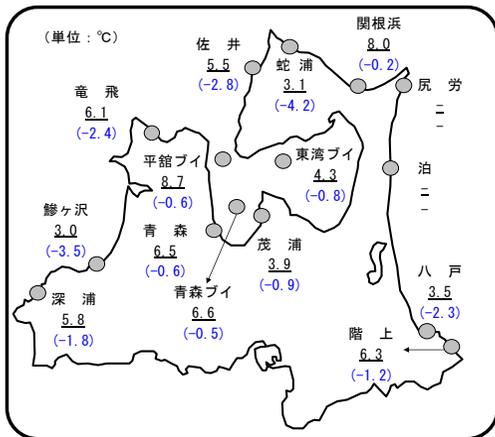


図 定地水温(1月26日～31日)  
平均値(平年差)ブイは1m

表 沿岸各地の水温 (1月26～31日)  
(単位:℃)

地域	地点	水 温			
		水温	前回差	前年差	平年差
日本海	深 浦	5.8	-0.2	-0.7	-1.8
	鰐ヶ沢	3.0	-2.7	-1.8	-3.5
	平均	4.4	-1.4	-1.3	-2.6
津軽海峡	竜 飛	6.1	-1.2	-2.2	-2.4
	佐 井	5.5	-1.4	-1.8	-2.8
	蛇 浦	3.1	-2.0	-1.3	-4.2
	関根浜	8.0	-0.7	-0.6	-0.2
	平均	5.7	-1.3	-1.5	-2.4
陸奥湾	青 森	6.5	-1.3	-1.4	-0.6
	茂 浦	3.9	-1.1	-1.2	-0.9
	平館ブイ	8.7	-0.4	-0.7	-0.6
	青森ブイ	6.6	-1.1	-0.8	-0.5
	東湾ブイ	4.3	-0.8	-1.0	-0.8
平均	6.0	-0.9	-1.0	-0.7	
太平洋	尻 泊	-	-	-	-
	八 戸	3.5	-1.4	-1.9	-2.3
	階 上	6.3	-1.3	-1.3	-1.2
	平均	4.9	-1.4	-1.6	-1.8
全体平均	5.5	-1.2	-1.3	-1.7	

## 太平洋の海況

(1月28日～29日、表面水温分布)

概況：沿岸水温は8℃台

○太平洋沿岸域の表面水温

前回と比べてわずかに降温しています。これは前年同期と比べてわずかに低い水温です。

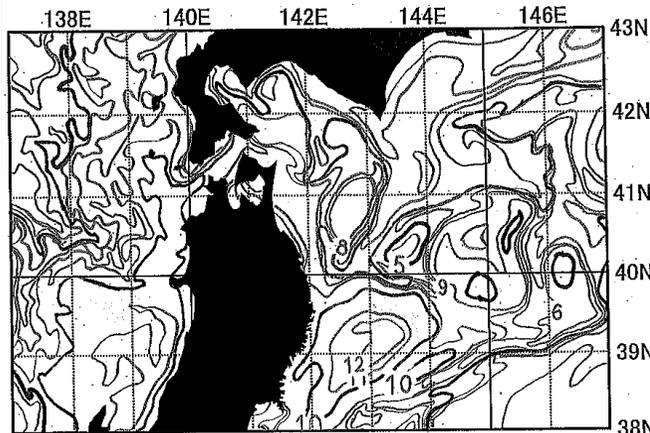
## 日本海の海況

(1月28日～29日、表面水温分布)

概況：沿岸水温は9～10℃台

○日本海沿岸域の表面水温

前回と比べて1度ほど降温しています。これは前年同期と比べて同程度の水温です。



資料：(一社) 漁業情報サービスセンター  
北部太平洋海況速報 第84号 1月30日発行

## ○津軽海峡東口における津軽暖流の流量調査結果

試験船開運丸は2017年11月3日から5日にかけて標記の調査を行いました。この調査は尻屋—恵山間の東口定線上を流向・流速データを取りながら4往復してその平均から流量を算出しようとするものです。

図1はこの調査中に行った海洋観測の結果から、水温の鉛直分布を示したものです。

南側(青森県尻屋沖)では表層に15℃台の暖水が分布し、底層は7℃台でした。また、北側(北海道恵山沖)では表層に14℃台の暖水がみられたものの、底層には4℃台の冷水が分布していました。

図2には4往復(=8横断)の平均の流速分布(東西成分)を示しました(プラスが東向き成分)。

これをみると、南側(尻屋沖)に表層を中心とする東向きの流れ(100cm/秒(2ノット程度))が分布し、北側(恵山沖)では底層に中心を持つ西向きの流れ(25cm/秒(0.5ノット程度))が分布していました。この断面で津軽海峡を流れる流量を計算すると2.01スベルドラップで、これまでに行われた結果(平均2.26スベルドラップ)と比べるとやや少なめな結果となりました。

※1スベルドラップは毎秒100万立方メートル

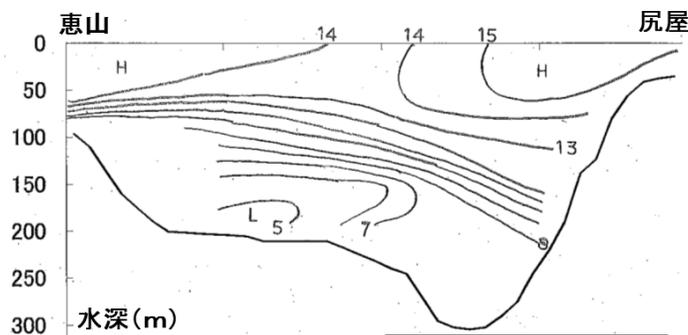


図1 水温鉛直分布図

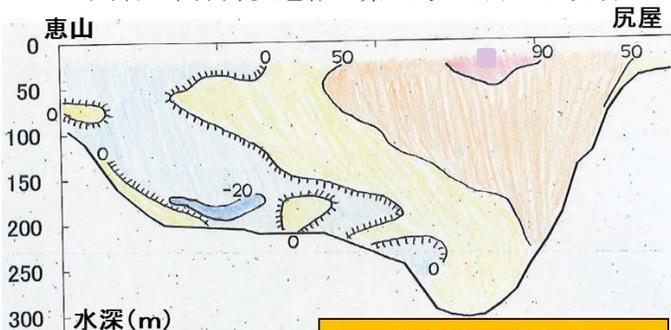


図2 流速(東西成分)分布図

図中の数字の単位はcm/秒